

記者発表(資料配付)				
月/日 (曜)	担当課室名 班名	TEL	発表者名 (担当班長名)	その他の 配布先
7/18 (木)	農政環境部 農政企画局 総合農政課 農林水産政策班	078-362-9216 (内線3950)	課長 近藤 謙介 (磯崎 博隆)	—

## アグリビジネス創出支援事業の採択プロジェクトを決定 農林漁業者と異業種との連携により県産農林水産物の新たな価値を創出

農林漁業者と異業種との連携を推進し、県産農林水産物を活用した創造的な新商品・新サービスを生み出すため、今年度から新規事業として、「アグリビジネス創出支援事業」を創設しました。

このたび、当事業に取り組むプロジェクトを公募したところ17件の応募があり、有識者からの意見等をもとに審査を行い、下記のとおり今年度の支援対象として8件のプロジェクトを採択することとしましたので、お知らせします。

### 記

#### 1 対象となるプロジェクト

県産農林水産物を用いて新たな価値を持つ新商品や新サービスを生み出す調査・研究

#### 2 公募期間

平成31年3月4日(月)～令和元年5月9日(木)

#### 3 応募プロジェクト

17件

#### 4 採択プロジェクト

8件 ※ 詳細は、別添資料をご参照ください。

#### 【参考：アグリビジネス創出支援事業の概要】

##### 1 目的

本県農林水産業の活性化や発展を図るため、異業種連携によって生み出される新商品・新サービス等の新たなアグリビジネスを創出する取組を支援する。

##### 2 補助額・補助率

300万円以内 定額

##### 3 補助期間

原則1年間(最大2年間)

平成31年度アグリビジネス創出支援事業採択プロジェクト

別添

プロジェクト名	共同チーム (◎：代表機関、○：プロジェクトリーダー)	プロジェクトの概要
低温刺激によるイチゴへのマルチ機能性の付与	◎○神戸大学 (株)藤製作所 二郎いちご・滑浦武志農園 レーブドウシェフ	イチゴへの機能性付与は、その商品価値を高め、差別化に貢献できる。申請者らは、これまでにイチゴの機能性成分のひとつである総ポリフェノール含量が低温刺激により増加し抗酸化能を高めることを明らかにした。本プロジェクトでは、ポリフェノール以外の成分に着目し、同刺激により複数の機能性を付与する可能性について調査する。さらに、栽培期間中に低温刺激を効率よく与えられる方法および装置の開発に取り組む。
電解水素水を利用した高品質・高機能性カキ‘太秋’の育成	◎神戸大学 ○パーシモン研究所 (株)日本トリム 松下農園	黒変抑制及びカロテノイド含量の増加による高品質・高機能性のカキ‘太秋’を生産するため、電解水素水の散布による栽培手法を確立する。また、輸出を視野に入れ、高温で長期貯蔵が可能な可食性コーティングを用いた貯蔵条件を確立する。さらに、機能性を高めた加工品を開発することで、外観が悪く商品価値が低下した黒変果の有効活用を図り、食料ロスの軽減にも取り組む。
飼料米によるひょうご味どりの高付加価値化の証明とその市場における評価の検証	◎○神戸大学 (株)加美鳥 (株)野乃鳥	申請者らは、地鶏(ひょうご味どり)は、配合飼料のトウモロコシを100%飼料米に置換しても産肉量が減少することなく、むしろ食味が改善されることを明らかにした。本プロジェクトでは、実生産レベルで飼料米主体飼料を給与して育てたひょうご味どりをを用いて、その優れた肉質を科学的に解析するとともに、外食産業における販売実績を比較することに基づき、その市場における評価を検証する。
兵庫県産キクラゲを利用した新規骨粗しょう症予防サプリメントの開発	◎共栄物産(株) ○大阪府立大学 (株)根日女グリーンファーム	骨粗しょう症の症状緩和にはカルシウムに加え、ビタミンD、ポリフェノール、食物繊維等の同時摂取が必要である。本プロジェクトでは、プロビタミンDを高含有する兵庫県産キクラゲを活用し、ポリフェノール等、複合効果が期待される成分に富む原料と加工することで、天然由来で安心安全な国産の骨粗しょう症予防サプリメントの製造販売をめざす。
えごまの機能性を活かした「すりえごま」商品の開発	◎○新温泉町えごま研究会 (株)但馬寿 鳥取大学 新温泉農業改良普及センター	えごま油は機能性食品として注目されているが、搾油により生じる「すりえごま」も機能性成分を含んでおり商品化が期待されている。本プロジェクトでは、「すりえごま」中の含有量を分析し機能性を評価し、機能性を活かした「すりえごま」商品の開発を行う。また、加工品開発に合わせて、「すりえごま」の加工適性を検討し加工マニュアルを作成し、地域の加工業者への波及を図る。
酪農家支援サービス事業における人工知能(AI)を活用した牛群評価精度の向上と業務の効率化	◎近畿生乳販売農業協同組合連合会 ○合同会社Isys 榎本牧場 県立農林水産技術総合センター	酪農家の生産性向上と県民への地元産良質牛乳の安定供給のため、乳成分分析装置を活用した新たな飼養管理指標項目の検量線を作成するとともに、生産現場へ携行可能な小型の飼料成分分析装置を開発する。さらに、これらの装置から得られる情報を人工知能(AI)によって管理・解析し、飼養管理改善に繋げていける酪農情報サービスシステムを構築し、酪農家支援サービス事業の効率化を図る。
有機栽培ケールの構造・栄養学的観点による相関解析に基づいた機能性野菜チップスの開発	◎(株)アトラステクノサービス ○兵庫県立大学 (株)ナチュラルズム	有機栽培ケールの機能性ミネラルやビタミン類に着目し、真空フライ製法の特性を活かした機能性チップスの開発をめざす。本プロジェクトでは、これまで明らかにした成果をさらに発展させるため、①油じみが多い秋ケールの真空フライ時における葉構造を保護する下処理方法の確立、②品種による季節性と栄養成分(ミネラルやビタミンC)含量の相関関係の詳細分析による栄養性の長期維持に関する検証等を実施し、課題解決を図る。
低コストで高品質野菜の栽培可能な人工光高性能野菜栽培プラントの運用実験	◎○(株)エコリカル (株)恵葉&菜健康野菜 (株)チューリップハウス農園 NSW(株)	申請者らは、小・中規模型工場でも低コストで栄養価の高い野菜栽培が可能な高性能野菜栽培プラントを開発した。本プロジェクトでは、南あわじ市の支援のもと運用する旧小学校施設(アグリミュージアムNADA)を用い、高性能野菜栽培プラントと太陽光エネルギーを利用し、低コストで栄養価を高めた多品目の高付加価値野菜の栽培実証と加工品の開発に取り組む。